

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[問題](#)

[解決策](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、黄色の LED がついたベースステーションおよびその問題の解決策について説明しています。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントは、Cisco Aironet 340 シリーズベースステーションのすべてのモデルおよびすべてのソフトウェアバージョンに適用されます。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

問題

ベースステーションの初期電源投入後に、中央の LED が黄色に点滅し続けることがあります。これは、ベースステーションが、Base Station Client Utility (BSCU) を介して設定された後で発生します。この問題は、ベースステーションがクライアントアダプタからワイヤレスリンク上で設定を受け取っていないことを示しています。

解決策

BSCU の起動を停止して使用している問題を解決し、それを再起動する Windows の [Start] メニューから [BSCU] を選択します。次の手順を実行する必要があります。

3. [OK] を選択して終了します。
4. これで、ベースステーションとのアソシエーションが可能になりましたが、中央の LED はまだ黄色で点滅しています。
5. PC で Telnet セッションを開始するには、次の手順を実行します。[Start] を選択します。[Run] を選択します。telnet 192.168.200.1 コマンドを入力します。Enter キーを押します。Telnet がベースステーションに接続したら、次の情報を示す画面が表示されます。
6. 1 を入力して、SSID を設定します。
7. 適切な SSID を入力します。この数字は後で必要になるため、この数字をメモしておきます。
8. Enter キーを押します。
9. 3 を入力して、WEP キーを設定します。
10. 適切な WEP キーを入力します。この数字は後で必要になるため、この数字をメモしておきます。
11. Enter キーを押します。
12. ベースステーションにより WEP キーを確認するためのプロンプトが表示されたら、手順 9 ~ 11 を繰り返します。
13. 4 を入力して、変更した SSID および WEP キーを有効にします。これらの手順が完了するまで、クライアントとベースステーションのアソシエーションは失われます。
14. BSCU に戻り、[Client] および [Edit Client Properties] を選択します。
15. Web 暗号化チェックボックスをオンにします。
16. 設定した WEP キーおよび SSID を入力します。
17. 完了したら [OK] をクリックします。ベースステーションの中央の LED が緑色に点灯し、クライアントのアソシエーションが再確立されます。

[関連情報](#)

- [Cisco Aironet ベースステーション FAQ](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)